

技術的能力 添付資料の比較

2017年11月1日
日本原子力発電株式会社

1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

No.	玄海3 / 4号	東二	東二資料の有無	採用可否	要否理由・記載方針
1	重大事故等対処設備と基準規則の対応表	審査基準，基準規則と対処設備等の対応表	有	—	(添付資料 1.12.1)
2	多様性拡張設備仕様	自主対策設備仕様	有	—	(添付資料 1.12.2)
3	移動式大容量ポンプ車及び放水砲による原子炉格納容器、燃料取扱棟への放水	可搬型代替注水大型ポンプ(放水用)及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制	有	—	(添付資料 1.12.3)
4	放水砲の設置位置(多方向)について	放水砲の設置位置及び使用方法等について	有	—	(添付資料 1.12.5)
5	放水砲の放水方法について	放水砲の設置位置及び使用方法等について	有	—	(添付資料 1.12.5)
6	シルトフェンス設置	汚濁防止膜による海洋への放射性物質の拡散抑制	有	—	(添付資料 1.12.8)
7	発電所構内の雨水排水流路に汚染水が流れ込んだ場合の汚染水拡散抑制の成立性について	—	無	要	本文中の第1.12-5図で説明可能
8	シルトフェンスを張るまでの放水に対する放射性物質吸着剤を用いた拡散抑制	放射性物質吸着剤による海洋への放射性物質の拡散抑制	有	—	(添付資料 1.12.9)
9	化学消防自動車及び小型動力ポンプ付水槽車による泡消火	化学消防自動車，水槽付消防ポンプ自動車及び泡消火薬剤容器(消防車用)による延焼防止処置	有	—	(添付資料 1.12.10)
10	可搬型ディーゼル注入ポンプ及び小型放水砲による泡消火	—	無	否	対応設備の違い
11	移動式大容量ポンプ車及び放水砲による泡消火	可搬型代替注水大型ポンプ(放水用)，放水砲，泡混合器及び泡消火薬剤容器(大型ポンプ用)による航空機燃料火災への泡消火	有	—	(添付資料 1.12.11)
12	放水設備における泡消火薬剤の設定根拠について	放水設備における泡消火薬剤の設定根拠について	有	—	(添付資料 1.12.12)
13	消火設備の消火性能について	消火設備の消火性能について	有	—	(添付資料 1.12.13)
14	手順のリンク先について	手順のリンク先について	有	—	(添付資料 1.12.14)
15	—	放射性物質拡散抑制手順の作業時間について	有	—	(添付資料 1.12.4)
16	—	可搬型代替注水大型ポンプ(放水用)及び放水砲による放水開始の判断基準のうち「プラントの異常により，モニタリング・ポストの指示がオーダーレベルで上昇した場合」について	有	—	(添付資料 1.12.6)
17	—	ガンマカメラ又はサーモカメラによる大気への放射性物質の拡散抑制効果の確認	有	—	(添付資料 1.12.7)